

織り物の準備において、①糸を糸巻に巻く②これを糸繰や手繰りで、紐(かせ・輪状)にし染色等する③もう一度糸巻に戻すこの工程を「繰り返し」という。糸巻とおだまきの花が似ていることから、しづ柄(倭文・日本古来の織りの文様)を織るのに欠かせない工程である「繰り返し」の枕詞となる。糸巻に巻かれる糸は主に麻や苧麻(からむし)の皮で、上布の原料となる

いにしへの

しづのをだまき

いやしきも

よきも さかりは

ありしものなり



をだまき  
(糸巻き)

いにしへの しづのをだまき繰り返し

昔を今になすよしもがな

伊勢物語

しづやしづ しづのをだまき繰り返し

昔を今になすよしもがな

静御前

古今和歌集 読み人しらず